

大会名 Competition	第22回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-108	Year Month Day Time 2009 年 5 月 4 日 13 : 30
場 所 Place	能代市総合体育館



チーム A		チーム B
桜		新潟商
宮	( 18 1st 20 )	
67 ●	( 16 2nd 29 )	82 ○
	( 14 3rd 18 )	
	( 19 4th 15 )	
	OT	

主審:Referee 渡邊 亮 福島県  
副審:Umpire 小川 裕之 秋田県  
テーブル・オフィシャルズ:Table officials 能代北高校

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	×	木下 貴裕	CAP	13	3	2	0	0	4	×	小野寺 弘晃	CAP	12	0	6	0	1
5	×	田中 一行		18	0	8	2	3	5	×	新保 寛人		24	5	3	3	3
6		横田 一城		-	-	-	-	0	6	×	田村 亮		17	0	7	3	3
7	×	阪口 拓郎		2	0	0	2	4	7	/	青山 充		1	0	0	1	0
8	/	福田 隆司		5	0	2	1	1	8	/	佐藤 寛人		0	0	0	0	1
9	×	谷口 淳		13	0	4	5	4	9	×	中村 博		7	1	2	0	3
10	/	岡田 修		2	0	0	2	1	10	/	荻野 晃平		4	0	2	0	1
11	/	石塚 裕也		10	0	5	0	3	11	/	亀山 亮		2	0	1	0	1
12	/	柳内 龍馬		0	0	0	0	0	12	/	小林 力		0	0	0	0	1
13		山本 和輝		-	-	-	-	0	13	×	岩淵 俊紀		9	0	4	1	2
14	×	保井 佑介		4	0	2	0	2	14	/	鳥越 皓幾		0	0	0	0	0
15		古倉 勇人		-	-	-	-	0	15	/	村越 俊紀		0	0	0	0	0
16		濱本 将太		-	-	-	-	0	16	/	小林 裕太郎		4	0	2	0	1
17		吉川 凌司		-	-	-	-	0	17	/	鶴巻 拓哉		0	0	0	0	1
18	/	河隅 航		0	0	0	0	0	18	/	田宮 開		2	0	1	0	0
コーチ		小村 基							コーチ		中屋 廣昭						
Aコーチ		藪中 俊彦							Aコーチ		丹波 浩之						
合 計				67	3	23	12	18	合 計				82	6	28	8	18

※×:スターター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

第1Q、両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。新潟商は#5新保の3Pで先制する。桜宮は#5田中のジャンプシュート、ゴール下のシュートで連続得点する。どちらも互いに激しいプレッシャーをかけ、一進一退の攻防が続く。8分過ぎ新潟の#13岩淵の切れ味のあるドライブ、#6田村のミドルシュートで攻撃の糸口を見いだすが、桜宮#8福田のジャンプシュートなどで応戦、18-20で新潟商の2点リードで第1Q終了。

第2Q、新潟商はねばり強いディフェンスから#6田村へボールを集めて得点を重ね、じりじりとリードを広げていく。20-30となったところで桜宮はたまたまタイムアウト。5分過ぎに主導権を握った新潟商は更にディフェンスのプレッシャーを強めていく。桜宮も#7阪口の素早いドリブルから#4木下がジャンプシュートを決めるが、その後も新潟商は#5新保の3Pなどで得点を重ね、34-49で前半を折り返す。

第3Qに入ると、桜宮は#9谷口、#14保井のポストプレーなどで巻き返しを図る。その後も#11石塚のリバウンドから速い展開に持ち込み、点差を縮めていくが、新潟商も#4小野寺、#5新保のテンポの良いシュートで流れを譲らず、48-67で第3Q終了。

第4Q、新潟商は、#16小林、#17鶴巻が激しくボールにプレッシャーをかけ、スティールからの速攻や、#9中村のカットインなどで一気に突き放す。桜宮も#5田中、#11石塚が果敢にゴール下に攻め込むが、結局67-82で新潟商が勝利。新潟商の堅守速攻が光った試合であった。また、桜宮#7阪口のスピードあるドリブル、#11石塚のリバウンドも会場を沸かせた。